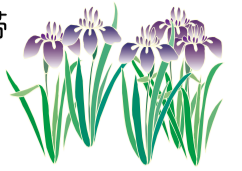


発行/京田辺市
〒610-0393京都府京田辺市田辺80
☎(0774)63-1122 FAX(0774)63-4781
HP http://www.kyotanabe.jp/

京たなべ

世帯数 25,799世帯
男 31,624人
女 33,326人
合計 64,950人



児童福祉週間

こどもの日を満喫!

大住児童館で5月5日、児童福祉週間の一環として、親子で楽しめるさまざまな催しが行われ、144人の家族連れがこどもの日を満喫しました。

この日、午後から開かれた「おしゃれなこいのぼり作り」では、子どもたちが材料を抱えて机にカラフルな紙のこいのぼりに色紙をちりばめて貼ったり、ペンを使って思い思いの模様を描いたりするなど、夢中で作業に取り組んでいました(=写真)。

また、「広い場所で、みんなそろって工作できるのは楽しい」と、出来上がったこいのぼりと子どもたちの笑顔を見ながら、家族も一緒に楽しんでいました。

まちの情報を分かりやすくお届け

広報京たなべ



700号発行を迎えさらに充実

昭和27年に『田辺町政だより』として創刊号が発行されてから60年。まちの情報を適確に、そして分かりやすくお伝えすることを目指しお届けしてまいりました『広報京たなべ』が、今号で700号を迎えました。

これも市民のみなさんをはじめ、多くの読者の方に支えられたことによるものであり、改めて感謝申し上げます。

創刊号において初代田辺町長の故北川檜太郎氏が「一圓融合」という言葉を掲げ、「町民一同が真から助け合い平和な住みよい、田園文化の町を建設したい」という思いは現在も生き続け、まちづくりの大切な指針となっています。

創刊時15,000人であった田辺町の人口は、高度経済成長の時代とともに急激に増加し、平成9年4月の市制施行を経て、平成24年5月1日現在、64,950人と当時の4倍の人口を数え、本市は、関西の中心に位置する都市として成長するに至りました。

広報紙についてもまちの発展とともに

に充実を図り、今では月2回の発行と、昨年からのカラー化によって、見やすい紙面へと変遷を遂げました。

行政に対する市民ニーズが多様化し、さらに地方分権が進む中で各自治体には個性を生かしたまちづくりが求められることとなり、今後のまちづくりは市民と行政が協働して取り組んで行くことがさらに大切になってまいります。

そのためにも行政の持つ情報を分かりやすく市民のみなさんにお伝えする広報の役割はますます重要となると考えております。

今後もより見やすく親しみやすい、また、まちの活性化に向けた情報をいち早くお届けできるよう『広報京たなべ』の発行に取り組んでまいりますので、市民のみなさんの積極的なご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

京田辺市長

石井 明三



親子でふれ愛深め 児童福祉週間のイベント始まる

田辺中央体育館で4月27日、児童福祉週間の始まりとなる「親子ふれ愛交流」が開かれ、152人の家族連れが、こいのぼり掲揚・コンサートなどを楽しみました(=写真)。

歌のおねえさんの山本かずみさんによるコンサートでは、子どもたちが「あいあい」「おもちゃのチャチャチャ」などの歌に合わせて手遊びを楽しみました。

また、高校生と中学生の2人の子を持つ親として、自身の子育て体験談や、子どもへの接し方について話

す場面もあり、「生まれてきてくれてありがとうという感謝の気持ちを持って、子どもに接してほしい」と参加者へメッセージを送りました。

上辻彩乃ちゃん(2)と参加した母親の恭子さんは「子どもと一緒に参加できるイベントでとても楽しかった。また参加したい」と話してくれました。

児童福祉週間は5月26日(土)まで。詳しくは4月1日発行の広報京たなべをご覧ください。



歴代広報紙やイラストを展示

1320

問合せ先 市長公室 (☎64)

入場料 無料

場所 中央図書館

時間 午前10時～午後5時

日にち 7月31日(火)～8月5日(日)

市は、広報京たなべ発行700号の発行を記念し、展示会を開きます。過去の広報紙や長年掲載している南久美子さんの暖かみあるイラスト原画などを厳選して展示します。市がたどってきた歴史を感じてください。

振り返る60年
広報紙の歴史を展示